

研究部だより

令和5年
10月26日(木)発行
第5号
文責：野村

研究部だより第5号では、高等部の授業実践について掲載しました。日々の授業づくり等で役立てる情報があれば幸いです。また、学年で取り組んでいるICT活用についても掲載していますので御覧ください。

ICTを活用した授業実践⑤・⑥高等部

高等部1年 『Google classroom』の活用例

授業者

高等部1学年

対象生徒の様子

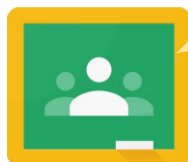
- ・学年で集まって行う学習では、様々なことが原因で気持ちが不安定になってしまう生徒が多い。また、大きな声を出す生徒がおり、他の生徒が集中して学習に取り組むことが難しい状況だった。

ICT活用の意図

- ・各クラスで Meet に接続することで、学年で集まる必要がなくなり、落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。

活用したアプリ

- ・Google classroom
- ・Meet



classroom から Meet に接続することで、「コード」と「パスワード」を入力する必要がなくなり、スムーズに接続することができます！

ICT活用の成果

- ・大人数が苦手な生徒が落ち着いて学習に取り組めるようになった。
- ・生徒がそれぞれ自分のタブレットで Meet に接続することがあったが、学年で集まって学習していたときより集中している生徒が多かった。学年で集まって学習していたときは、ざわざわしている環境だったため、教師の声に注意を向けることが難しかったが、自分のタブレットで Meet に接続することで余計な刺激が減り、集中しやすい環境になったのではないかと考える。

『classroom』こんな使い方もしています！



高等部1学年では、教師の連絡用にクラスルームを作成しています。そこで生徒の出欠や教師の休暇予定、授業の連絡を共有しています。そうすることで、朝の打ち合わせの時間が短縮され、必要な連絡に時間を割くことができるようになりました。

高等部2年 見学旅行事前学習『Google Classroom & Jamboard&フォーム』の活用例

授業者

高等部2学年

対象生徒の様子

- ・1年生の頃は文字入力も難しかった生徒がスムーズに入力できるようになってきた。
- ・最初はスクリーンに映して説明していたが、最近は口頭指示でドライブやクラスルームなど開くことができる生徒が増えてきた。

ICT 活用の意図

- ・Google の様々な機能の活用にチャレンジしてみる。
- ・生徒が主体となって調べたり選択したりなど、自分の考えを表出する。

活用したアプリ

- ・Classroom
- ・Jamboard
- ・フォーム



↑Classroom（高2生徒&先生グループ）



↑Jamboard（見学旅行事前学習）



↑フォーム（見学旅行アンケート）

ICT 活用の成果

- ・みんなの前で意見するのが苦手な生徒や発語がなく自分の考えを言葉で伝えられない生徒が、ICTを活用することで文字を入力したり、指差ししたりなどして自分の考えを表現することができた。
- ・友達や他の教室で学習しているグループがどんな活動をしているかすぐに確認できることで、生徒の学習への興味関心や意欲が高まった。
- ・ドライブに授業で使用したスライドを保存しておくことで、振り返りのときに見返したり、自分が見たいタイミングで確認したりすることができ、授業中の発言や会話が増えた。

Google のチャット、カレンダーも活用しています！



高等部2学年ではチャットやカレンダーの機能を活用しています。見学旅行では引率団のグループを作成しました。チャットは先生方が集まらなくても全員で情報共有ができるので、グループ活動やホテルの部屋等で生徒掌握をしながらも細かな情報を共有ができました。カレンダーは先生方の割り振りやスケジュール管理に活用しました。